

令和 7 年度 高知市立学校における水泳実技授業について

高知市教育委員会

1 実施状況：高知市立学校 57 校

(小学校 38 校・中学校 16 校・義務教育学校 2 校・特別支援学校 1 校)

※ 未実施：小学校 1 校、中学校 1 校

2 57 校の参加状況：児童生徒参加率：約 98%

(小学校：約 99%，中学校：約 94%，義務教育学校 100%，特別支援学校：約 99%)

※ 不参加の主な理由（怪我、病気、学校に登校できていない）

3 成果と課題

成 果	課 題
<p>【運営面】</p> <ul style="list-style-type: none">・プール指導実施前に、安全管理指針や緊急時対応マニュアルを策定し、改めて教職員で共有を図り、徹底することにつながった。・水泳授業の安全の取組について、保護者や地域の方に理解をいただき、見守り等の協力を得られた。	<p>【運営面】</p> <ul style="list-style-type: none">・大プール指導者の確保が困難であった。・大プールと小プールの水位調整が難しい。・水位を下げたことによって、水質管理が困難であった。 <p>※オーバーフローができなかつたため、入水時に虫や浮遊物に不快感を示す子供がいた。</p> <ul style="list-style-type: none">・熱中症対策（日陰の確保）が難しい。・天候やプール施設の関係で、授業時数の確保が難しかった。・2 時間以上続けての監視は、体力的にも精神的にも厳しい。・健康確認カードについて、保護者とのやり取りの方法等を検討する必要がある。
<p>【指導面】</p> <ul style="list-style-type: none">・「監視者」がいることで安心して授業を進めることができ、支援すべき子供への対応を充実させることができた。・バディシステムを活用することで、子供同士の教え合いや助け合いが生まれ、楽しみながら学習する姿が見られた。・バディシステムを活用することで、技能の習得に効果があった。・始めは水泳を怖がっていた児童も、ライフジャケットやヘルパーの使用により、安心して水泳学習に取り組むことができた。	<p>【指導面】</p> <ul style="list-style-type: none">・水位が低いためプールサイドを使用してのバタ足やかえる足の個別指導が困難だった。

令和8年度 高知市立学校における水泳実技授業に向けての取組

○ 施設面における検討事項

- ・ 净化装置点検を前倒ししたことで、水泳授業開始までにプール設備の不具合への対応ができたが、プール水を例年の約1月前から溜めたため、水泳授業開始までに外部から飛来し沈殿した砂埃等の除去が必要となった学校が複数あった。
- ・ 大プールと小プールが連結管で繋がっていること等から水位調整に専門業者が必要だった。
- ・ プール槽の経年劣化で金属製プールの表面塗装が剥離し、水泳授業を中止した学校（旭中学校、春野中学校）があった。

※ 令和8年度の水泳授業の実施に向け改修をする方向で検討を進める。

○ 今後の予定

年	月	教育委員会	学 校
令和7	7 下旬	○水泳授業に係るアンケートの実施	○水泳授業の振り返り・見直し ○アンケート回答
	8	○アンケート結果集約及び分析 ○課題の洗い出し及び改善策検討	
	9 ・ 10	○アンケート集約結果等返却 ○安全管理マニュアルの見直し・改訂 ○チェックリストの見直し	○アンケート集約結果等確認
	11	○改訂した安全管理マニュアルの周知	○水泳授業安全管理委員会を中心に、改訂された安全管理マニュアルの確認
	12 ・ 1	○安全管理マニュアル補足資料作成及び提供	○水泳授業安全管理指針及び緊急時対応マニュアル等の見直し ○水泳授業安全管理指針等の提出
	1 ・ 2	○水泳授業安全管理指針の確認	
令和8	4 ・ 5 ・ 6 上旬	○プール清掃 ○プール施設（設備含む）点検 ○学校を訪問し、進捗確認 ○安全管理研修実施 ○チェックリストによる確認	○水泳授業安全管理指針の立ち上げ ○水泳授業安全管理指針及び緊急時対応マニュアルの周知 ○保護者への指針等の周知 ○伝達講習及び実技研修等実施
	7 中旬	○学校を訪問し、水泳授業の参観	<u>○水泳授業実施</u>